

柳ヶ瀬から「はじめの一步」を踏み出そう！

空きビルを生かした貸しスペース 管理人 柳ヶ瀬倉庫 上田哲司さん

「やながせ倉庫」 「やながせ倉庫団地」

日本でも有数の繁華街として賑わいをみせた柳ヶ瀬商店街。しかし現在、他の地方都市の中心市街地の現状と同じく、かつての繁華の頃の姿とは遠くなっています。

そんな柳ヶ瀬商店街に2004年、空きビルを「小さな複合商業施設」として再生させた「やながせ倉庫」が誕生。今年で11年目を迎えました。

そしてこの6月、さらにこのビルの中に新たな創業応援スペースやながせ倉庫団地がオープン。「管理人」と自らを呼ぶ、ビルのオーナー 上田哲司さんにお話を伺いました。



上田さんは今から約20年前、このビルを亡くなった祖父から受け継ぎました。当時上田さんはまだ30代でした。その頃すでに柳ヶ瀬界隈は、以前の賑わいには遠くなり人通りもまばら。上田さんのビルのテナントも撤退が相次ぐ状況でした。

「なんとかしなければ、と思いました」

そこには自分のビルの空き状況を案ずるだけではない、ひとつの想いがありました。

「これ以上、柳ヶ瀬を閑散とさせたくない。人に集まってほしい」

そんなある時、上田さんは柳ヶ瀬商店街の会合で「空きビルの活用策を提案してほしい」と問いかけました。さまざまなアドバイスを受けるなか、紹介されたのが「若いクリエイターが集まるテナントビル」をコンセプトとした空きビル活用策でした。

「クリエイターって？何だろう？」

当時の上田さんは、そのくらいの知識でした。

ですが「柳ヶ瀬に若い人が増えることは大いに望まし

い」と、この提案を受け、若者たちが自由なスタイルで店を営んでもらえるようにと「やながせ倉庫」と命名し運営をはじめました。

この「やながせ倉庫」、何といってもいちばんの特徴は、家賃が格安なこと。ですがそれ以上の魅力と注目されているのが部屋の内装などを「自分たちで好きにしたい」というところです。

「やながせ倉庫」は、もともとの雑居ビルだった構造をそのまま使っています。入居したクリエイターたちは、例えばかつてラーメン屋やスナックがあった柱の多い「昭和的」な間取りを、自分たちで壁を抜いたり足したり塗ったりと、改装や改築を自由に手掛け、ここに迷路のような新しい面白さをつくりだしています。入居者は、格安な家賃で起業の初期費用を抑えられるだけでなく、ビル内にまるごと自分の想いや個性を発揮できるのです。また、入居者たちがお互い助け合いながら改装・改修作業を行なうことで、自然にコミュニティが生まれていきました。

上田さんは、そんな若者たちの新しい感性が柳ヶ瀬商

店街に新風を呼びはじめたことに、徐々に刺激されていきました。

「こんな若者たちが増えていけば、ここ（柳ヶ瀬）は変わるんじゃないか」

何とか手助けができないかと考えだし、入居者のみならず、多くの若者たちの活動や作品を大勢の人に見てもらおうと、近くの神社で定期的に手作り市を開くなど、積極的なアピールをはじめました。

すると、5年目くらいから「やながせ倉庫」はほぼ満室状態に。嬉しい方向へと向かっていきました。

「入居者たちが、力をつけて成長し、認められ出し、それが口コミで広がっていったんです」

「上田さんに私たちの想いを相談すると、ほとんどの答えが『OK！ウエルカム』なんです。例えば『週末だけの営業？いいよ！』そう答えてもらって『頑張るだけ頑張ってみよう』という気持ちになりました」

（川島さん）

voice
テナントより

「ここ（やながせ倉庫）は大家族のようなんです。上田さんはお兄さん？お父さん？です」

（高間さん）



クッキー＆チョコレート専門店 A.L.C.cafe

に満室。空きを待っている人や、「卒業」し独立店舗を構える人も増えました。

「バラバラな個性ばかり。それが不思議といい感じになっている。おもちゃ箱のようなものですよ、ここは」

だから、中を開けてみたくなるー。

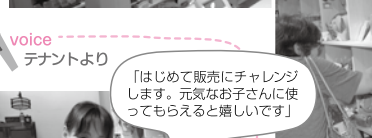
それが、ビルまるごと複合商業施設の「やながせ倉庫」のいちばんの魅力です。

そして更にこの6月、「やながせ倉庫」の一部を利用して、「やながせ倉庫団地」なるものが建ち揃いました。

ここには、まるで団地のように見立てられた約20

0区間のスペースがあり、月決めで貸し出されています。「やながせ倉庫」よりさらに気軽に手作りの品々を「気軽に販売できるのが魅力です」。

団地には専用の管理人が置かれているので、入居者は商品をディスプレイするだけ。その顔ぶれはクリエイターや主婦、サラリーマンや高齢者などと幅広く、岐阜市のみならず近隣市町、更には関東や関西からも入居され、オープンから約2か月で既に3／4が入居済となりました。上田さんは「経費をかけず、気軽に自分の店を持つてみたいという人はまだまだ多いと感じます。この『やながせ倉庫団地』が、楽しみながら踏み出せる『はじめの一步』の場所になれば」と語ります。



手作りのお弁当袋などを販売する藤吉さん（岐阜市）

voice
テナントより

「はじめて販売にチャレンジします。元気なお子さんに使ってもらえると嬉しいです」

上田さんは、手探りではじめたこの空きビル活用の11年間の財産を「たくさんの、ここから『はじまる』人たちのパワーに出会え、それを応援できたこと」だと振り返ります。

「一度立ち止まったこのまち（柳ヶ瀬）が、何かを『はじめたい』人たちで、どんどん埋まってほしい」

上田さんの応援は、まだまだ続きます。

やながせ倉庫

〒500-8831 岐阜県岐阜市弥生町10金川ビル
 Tel.058-265-2123
 http://yanagasesouko.com/